

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	国保保健事業		担当部署	健康福祉部 保険課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	国民健康保険法等	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="27"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なる			終 期
(小項目)		社会保障			
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施			
基本事業	2	医療費適正化の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市保健事業実施計画(データヘルス計画)に基づき、効果的かつ効率的な保健事業を実施することにより、被保険者の生活の維持・向上を図り、医療費の伸びを抑制するとともに健康寿命の延伸を図る。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	①保健指導:脂質異常・高血糖・高血圧のいずれかのリスクが高い方を対象に受診や生活習慣改善等保健指導を行う。糖尿病が強く疑われる方を対象に75g糖負荷試験を行う。②糖尿病性腎症重症化予防:高額な医療費となる人工透析の導入が危惧される糖尿病性腎症の方に栄養指導等保健指導を実施する。③早期介入保健指導:30歳以上40歳未満の被保険者を対象に健康診査を実施し、生活習慣病予備群への保健指導を実施する。④生活習慣病の重症化により、医療等社会保障費の増大につながっている実態等について周知を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		重症化予防対象者への訪問率	70	70	70	70	70	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①保健師による保健指導及び受診勧奨において、具体例を用いた分かりやすい資料により、疾病への理解を深めた。②保健師及び管理栄養士による保健指導を実施するとともに、かかりつけ医と連携を図り、継続した支援・治療につなげた。また、糖尿病が強く疑われる方を対象に、75g糖負荷試験を実施し、発症及び重症化予防を図った。③広報誌やLINE等の活用により、若年からの健診の必要性を広く周知を行うとともに、健診申込者にアンケートを実施し、啓発手段の有効性の把握に努めた。また、健診の結果、生活習慣病予備群の方には保健指導を実施し、疾病の発症予防に繋げた。④医療費の現状や医療費を節約する方法について周知を行うなど医療費適正化のための啓発に努めた。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	重症化予防対象者(脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎臓病)の訪問実施人数	222	198	-	-	-	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	重症化予防対象者への訪問率		99.6	87.6	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			125.1	-	-	-	%
今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成30年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	1,680	0	0	22,075	23,755
		補正予算額		0	0	0	0	△ 267	△ 267
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		0	1,680	0	0	21,808	23,488
		決算額		0	1,742	0	0	16,825	18,567
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.0	1.0	9,446		28,013			

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	18,025	18,567	23,564	23,564	23,564
	うち一般財源	16,102	16,825	21,964	21,964	21,964
	人件費	9,726	9,446	9,446	9,446	9,446
	総事業費	27,751	28,013	33,010	33,010	33,010

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		対象者に対して戸別訪問による保健指導を行うことで生活習慣の改善及び医療機関受診に繋がった。
	効率性	B:概ね効率的だった		訪問指導において、対象者の絞り込み・優先順位付けを行い、効率化を図っている。
②成果に対する評価	指標名	重症化予防対象者への訪問率		目標値を達成することができた。
	目標	70	%	
	実績	88	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		事業対象者に対して概ね個別訪問等による保健指導を実施したことからB評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	特定健診も治療も受けていない者は、重症化の実態が不明であり、効果的な方策により特定健診の受診者を増やしていく必要がある。 医療費が高額となる疾患(虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症)や長期における入院の医療費の伸びを抑えることに加え、対象者の生活習慣病予防に繋げていくための丁寧な保健指導を行い、治療や健診受診を継続していくための支援が必要である。 若年者健診については、利用者は少数であり、周知方法についてさらなる工夫を講じる必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	保健指導においては、健診データ等対象者の進捗管理を行い、必要に応じて医療機関と連携した保健指導を実施するとともに、特定健診未受診者に対しては受診勧奨を行い、継続受診者の増加を図る。 若年者健診の利用者拡大のため、効果的な周知方法を検討する。			
	R2年度	事業内容の効果検証・分析を行いながら、被保険者の生活習慣の改善や疾病に対する意識変化に繋げたい。			